

自分の考えを安心して表現し、考えを深める学習活動

道徳科・小学校5年または6年・ブランコ乗りとピエロ

ねらい：広い心をもって、自分と異なる意見や立場を大切にしようとする心情を育てる。



期待される効果

- ・児童全員の考えを瞬時に確認できる。
- ・発表が苦手な児童は、アンケートに自分の考えを書いて表現できる。
- ・アンケート結果がグラフとして可視化され、クラス全体で、考えの傾向を共有することができる。
- ・教師は児童の考えを把握し、意図的指名を行いながら授業を展開することができる。

使用する機能：アンケート入力、アンケート集計、画面共有

使用するアプリ：Google FormまたはMicrosoft Forms

学習活動

	活動内容	活用ポイント／留意点
導入	1 本時で考えることの確認 自分と異なる考えの人とどのように向き合えばよいだろう	・アンケートフォーム①・②(選択肢式)と、アンケートフォーム③(記述式)を事前に作成しておく。 ・アンケートフォーム①の例 〇〇は、△△のことをどう思っているか。 ア「自分のことしか考えていない」 イ「どちらかといえば、自分のことしか考えていない」 ウ「どちらかといえば、周りのことも考えている」 エ「周りのことも考えている」
	2 教材文「ブランコ乗りとピエロ」前半部分の範読 3 注意を聞かず演技を続けたサムや怒りをこらえるピエロのそれぞれの気持ちについての話し合い ・アンケートフォーム①に記入し、送信する。 ・アンケート結果を確認する。 ・登場人物の気持ちについて話し合う。	・アンケート①の集計結果を大型提示装置に映し出す。 ・送信されたアンケートフォーム①を基に意図的指名をし、登場人物の気持ちを整理する。
展開	4 教材文の後半部分の範読 ・アンケートフォーム②に記入し、送信する。 ・アンケート結果②を確認する。	・アンケートフォーム②の例 自分だったら、 ア「サムを許す」 イ「どちらかといえば、許す」 ウ「どちらかといえば、許せない」 エ「サムを許せない」
	5 課題の設定 ピエロの心の中からサムを憎む気持ちが消えたのはなぜだろうか。	
まとめ	6 アンケート②を基にした、ピエロの心情の変化についての話し合い ・サムを憎む気持ちが消えた理由をアンケートフォーム③に記入し、送信する。 ・サムに対するピエロの心情の変化について話し合う。	・アンケート②の集計結果を大型提示装置に映し出す。 ・登場人物の気持ちの変化とともに、相手の考えや意見を受け止め、相手とよりよい人間関係をつくるのが大切であると気付くことができるように、送信されたアンケートフォーム③を基に意図的指名をする。
	7 本時の振り返り	・ワークシートに振り返りを書く。